

キャラクター名
紅 千尋 “楽園の園”未完

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ ブルム=ストーカー		ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	UGNチルドレン
	オプション		年齢	17	性別	男
覚醒	感染	衝動	吸血	初期侵食率	31	%
出自	名家の生まれ	経験	秘密	邂逅	恩人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	32
肉体	4	1	0			5	行動値	6
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	6
精神	1	0	1			2	戦闘移動	11
社会	1	0	2			3	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
回避	白兵	5r+1				
ダークネスムーンブレイク	白兵	14r+2	4	11		1+3+4+5+6+7。
ダークネスムーンブレイク(100↑)	白兵	16r+2	4	14		1+3+4+5+6+7。
ダークネスムーンブレイク(160↑)	白兵	18r+2	4	17		1+3+4+5+6+7。

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
小さいボトル状の何か	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費
奇妙な隣人	P	N		
相棒: キバット	P 友情	N 食傷		
恩人: テレーズ・ブルム	P 尊敬	N 不安		
長月 遼	P 執着	N 憎悪		
カトレア	P 尽力	N 脅威		
籠皆守 巡也	P 連帯感	N 不安		
アンバル	P かわいい	N 油断ならぬ		

最大財産P: 6 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
完全獣化	3	6	マイナー	至近	自身	自動	—	
効果: このシーンの間、【肉体】の能力を使用したあらゆる判定のダイスを+ (LV+2) 個する。								
ハンティングスタイル	2	1	マイナー	至近	自身	自動	—	
効果: 戦闘移動を行う。1シーンLV回。								
滅びのかぎ爪	2	3	マイナー	至近	自身	自動	—	
効果: 種別・技能: 白兵、命中: 0、攻撃力: (LV+7)、ガード4、射程: 至近の素手データを作成する。HP-4。								
コンセントレイト: キュマイラ	2	2	メジャー	—	—	—	—	
効果: C値- (LV) ※最大値7								
獣の力	2	2	メジャー	武器	—	対決	—	
効果: <技能: 白兵>攻撃力+ (LV×2)。								
鮮血の一撃	3	2	メジャー	武器	—	対決	—	
効果: <技能: 白兵>判定ダイス+ (LV+1)。HP2消費。								
オリジン: アニマル	1	3	マイナー	至近	自身	自動	RB	
効果: シーン間、攻撃力+ (LV×2)。								
衝動探知	1	3	メジャー	至近	効果	自動	—	
効果:								
猫の瞳	1	—	常時	至近	自身	自動	—	
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

遙か昔、一人の吸血鬼がいた。その吸血鬼は「公爵」と呼ばれるほどの力を持ち、人々からも、仲間である吸血鬼からも畏怖される存在であった。それ故、多くの生きとし生ける者から恐れられ、数百年あまりの間、ずっと一人で過ごしてきた。...いや、厳密には一人ではない。吸血鬼に仕える一族がいた。その一族の名をキバットバット族。キバットバットの一族は代々力のある吸血鬼に仕え、力を貸す一族であり、その役割は数百年経った今でも続いている。ある日、吸血鬼は一人の少女と出会う。その少女は孤児で、どこにも行くあてがないと言うので、吸血鬼はその少女を育てることにした。やがて少女は成長し、見目麗しい女性に姿容を遂げ、二人の間には元氣な子どもが設けられた。しかし、時の流れは残酷で、女性は天寿を全うした。吸血鬼は酷く悲しんだ。「愛する妻がこの世を去ってしまい、私は生きる希望を失ってしまった。しかし、いつまでも悲しんでいるわけにはいかない。」そう思った吸血鬼は我が子を守るため、そして一人前の吸血鬼にするために、残りの人生を全て捧げた。その吸血鬼はその後、生涯新しい妻を娶ることもなかったという。...それが彼の父親、紅千尋のルーツとなった人物の物語である。

千尋は現在、キバットバット一族であるキバットバット三世と主従関係にあるが、主従関係というよりは友人といった方が正しい。友人、何なら親友のような関係になっても三世が千尋に力を貸す、この構図に変わりはない。今日も千尋はキバットの力を借り、夜に紛れて獲物を狩る。